



ながま

青森県立大湊高等学校 東京同窓会

第28号

創立六十周年
平成20年度

未来へ羽ばたく大湊高校



校長 長谷川 光治

同窓生の皆様には、ますます御活躍のこととお喜びを申し上げます。また、春日頃より在校生のために、物心両面にわたる、御支援、御協力を賜り御礼を申し上げます。

今年のむつのは春は見事でした。連休前に暖かな日が続く、例年よりも早めに桜が咲き、咲いてから気温の低い日が続いたため、昨年とは違い、長い期間、桜を楽しむことができました。運動公園前の桜並木は特に見事なものでした。学校の周りのヤマザクラは、昨年は雨にたたられたのですが、今年は天候に恵まれその見事さを知ることができました。

桜の季節が終わりはハルゼミの音が聞こえて来ますと、大高祭にむけて、ねぶたの小屋がかり、各運動部の高総体に向けての練習の熱気が一段と高まります。学校の元気を一番感じる今日この頃です。

はじめに、この紙面で生徒の活躍をお知らせできることを大変うれしく思います。各運動部の高総体に先がけて、5月22日～25日に開催されました、高校総体陸上競技で、男子が総合優勝、女子総合6位の好成績を収めました。「同部は今大会、多くの生徒が自己ベストや県高校新、大会新記録などを連発

し種目優勝・入賞をはたしたほか、リレー種目も持ち前のチームワークを発揮して男女とも上位入賞。」と、東奥日報に優勝が紹介されました。

この快挙に各方面から賞賛とさらなる励まし、応援をいただいております。何より、一番は生徒の日頃の努力があり、それを指導してきた顧問、そして、物心ともに御協力いただいた保護者の方々、地域の方々、同窓生の方々の常日頃からの応援、御支援のお陰と深く感謝申し上げます。陸上部以外の運動部の高総体はこの原稿〆切後の日程ですが、陸上部の快挙に続いて好成績をあげてくれること、期待しております。

陸上部の優勝で、一番うれしく感じたことは、東奥日報の記事にありました。生徒がチームワークを大切に、そして、多くが自己ベストを更新したこと。これが優勝の意義をさらに大きくするものと思います。人との和を深め、自己自身を越えていくことを学び、実践している大高生の将来、社会に出てからの活躍に大いに期待が持てることを確信しました。

陸上部の今後の日程ですが、6月13日～16日の東北大会の結果でインターハイへの出場が決定します。東北大会には22名の選手

が出場していますので、インターハイにも多数の選手の出場が期待できます。なお、インターハイは埼玉県の熊谷市で7月29日から8月2日の日程で行われます。お近くの方は後輩の応援をして頂ければ幸いです。

次に、創立60周年記念事業についてお知らせします。去る5月14日創立60周年記念事業協賛会の発会式と第一回総会を開催いたしました。今年度、後援会長に就任いたしました、佐々木正氏を協賛会長、小島同窓会長と中村PTA会長を副会長に、運営組織作りを行い、本格的に記念事業への取り組みを開始いたしました。なお、記念式典と祝賀会は10

同窓会オタク?



就任挨拶にかえて

会長 佐々木 彦藏

某日、五十年近く連れ添った大湊出身の家に言われた。「同窓会オタクね。」

「オタク」…「俗に趣味などに病的に凝って、ひとり楽しんでる若者」、三省堂の新明解国語辞典(第6版)にはこうある。念のため買ったばかりの岩波の広辞苑(第6版)を開いてみた。

「多く片仮名で書く」特定の分野・物事にしか関心がなく、その事には異常なほどくわしいが、社会的な常識には欠ける人」とあった。

昨年の総会で会長に選出されたから早いもので、年が過ぎた。「同窓会」、振り返ってみると昭和

月11日(土)を予定しております。同窓生の方々全員には直接、御招待の呼びかけをいたしません。出席希望の方は事務局に問い合わせ下さるようお願いいたします。

最後にホームページについてお知らせします。現在、同窓生と大湊高校を結びつける一番の手段としての大湊高校の公式ホームページの充実を目指して更新を行っております。個人情報扱い等に問題点が多量あり、完成まで、もう少し時間が必要かと思いますが、東京支部からの情報発信にもどんどん活用下さるようお願いいたします。

和二十六年春、大湊中学校を卒業直後から関係してきた。通算五十七年である。

大中の同窓会長をしていた頃、校長が佐藤健次・申賀謙太郎・大畑巖先生、PTA会長が菊池伊三郎・石下春雄さんの時代である。十代後半の私が、これら郷土の大先輩にどれほどの薫陶指導を受けたことか。今やみな故人になられた。

毎年の母校文化祭に同窓会で演劇を出そうと扇動し、何年か恒例になった。台本のガリ切り、読み合わせ、立稽古、大道具作り等々、勤めを終えた夜、三々五々母校に集まり、薄暗い裸電球の下



大湊高校旧校舎正門

この石門は現在「矢立温泉」にあります。

で汗を流したことを、半世紀以上前のはかな思い出、まさに「わが青春」である。佐々木(工藤)憲子、古館喜代治、佐々木邦年、祐川(伊藤)和子：当時の名優たち、みな郷里で健在である。大高同窓会にも演劇参加は引き継がれ、いま横浜に在住の秋濱信夫氏(6期)の監督・演出で武者小路実篤「だるま」を、旧校舎の天井の低い体育館(?)で主演した思い出がある。馬力のある初代会長工藤忠孝氏(1期)のもと、活発な活動をした。当時私と同じ副会長であった石井(鳴海)美子さん(4期)がお寺のお嬢さんだったので、上町の常楽寺の奥の部屋が役員会の定番会場だった。昭和四十二年に東京へ転動してきてからも同窓会に関わり、昭和五十五年の会則新訂・支部再出発、機関紙「ながま」の創刊など事務局のお手伝いをしてきた。年に一度の「総会・新卒者激励会」で、卒後・上京・〇〇日ほどの新卒者の諸君が、お互いの容姿激変ぶりに歓声を挙げ、感激に涙する場面を毎年のように目にする。同窓会のお手伝いはやめられないと思う。生涯「オタク」で結構と思う次第である。



恩師健在

しばらくは風身を おく薄暑かな 福原 弘之先生

教師になろうと決めた。出来ることなら思い切り遠隔の地にと
思い、青森を思った。

実はそれ以前に農林省総務局（現農林大臣官房）に勤務中、札幌出張で青森に着く前の車中で北海道（実は下北半島だった）を眺めて遠くへ来たものだと同僚と語り合ったことがある。

そんな六年程前のことを思い出しながら、青森市の平屋建ての粗末な庁舎で面接を受け、七戸高校へ赴任を言い渡され、途中で学校へ寄って挨拶し、帰京して準備中に、転勤予定者が留任することになったからと断りの連絡が入った。それで一遍に氣勢が殺がれ、

「青森」に対する不信感が萌したのは事実。
ところが、棄てる神あれば拾う

神ありで、一週間程して大湊高校の名で鄭重なお手紙が届いた。校長会で七戸高校の校長と隣合せのお話を聞いた。丁度本校に欠員が生じたので来ないかと言う、有難いお誘いである。

父に話すと、戦前仕事の関係で一度大湊に出張したことがあり、朝夕の出退勤時に大勢の従業員が道路一杯に溢れていたと言われ、未知の土地ながら少しは安心して、受諾の返事を出した。
午前九時頃、友人一人に見送られて上野発青森行急行で離京、

翌日の早朝、野辺地に着き、一番列車で更に北上、それが何とも形容し難い素莫荒涼たる原野の風景の連続で、正直、些か慌てた。

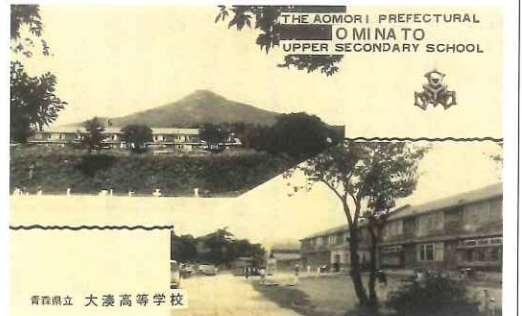
それでも途中、「横浜」という懐かしい名の駅で生徒が二十三人乗車、ホッと息ついたけれど、前途に何か言い知れぬ不安を感じていた。それでもやつの思いで終着駅大湊に着き、ゆつくり最後の改札を出ると、白髪交りの年配者が近づき、「遠路ご苦労様でした」と丁寧に挨拶され、更に「校長の南部です」と言われてハツとした。まさか早朝、校長自らの出迎えなど考えてもいなかったから、慌てて挨拶申しあげた。

それから駅近くの旅館に案内され、その日の夕方、修学旅行の慰労会が開かれるので、歓迎会も行おう旨告げられ、それまでゆつくり休むことになった。

昭和31年（一九五六年）10月1日、本州北端の町、大湊での生活が始まったのである。

大湊滞在は長くて五年、その後再び東京へ戻って本格的に仕事をしようという人生計画を樹ていた。ところがどういう訳か、依然として、この北辺の地に「われ在り」なのである。若者は毎年大望を抱いて上京して行くのに、流れに逆らって北上した雑魚は道を失つて老残の身を浅瀬に晒している為体である。そのせいだろう、都会のあの雑踏と人熱れとが無性に恋しくなることがある。

北北の五十二年の歳月が齎したものは、何だったのだろうかと思ひ返す今日この頃である。



青森県立 大湊高等学校

管見拙語

補給所前の通り、満開の桜を左手に釜臥山を仰ぐと残雪が日本列島の形に見えます。故郷の風物詩です。「下北半島の遺産」というホーミーが教えてくれました。この残雪を雪形といい、雪国各地はこの形を見て春の活動を始めるのだそうです。

◆もう何倍も東京での生活が長いのに、ついつい「帰る」と言ってしまう。「東京は仮の宿り」感が未だに抜けません。しかし、大湊駅に降りた瞬間に東京の人になります。でも大湊はいつまでも「帰る」所であつてほしい。◆医療、年金、介護など福祉の低下が問題になっています。ソシアルデザインだとか、エコノミックアニマルだとか、世界中の非難を浴びながら日本を支えてきた人達にこの仕打ちは惨い。既に「後期高齢者」に突入している人もこれからの人も、この先が思い遣られます。

◆同窓会に福祉は出来ませんが、心を癒すことは出来ると思つています。昔話をするもよし、故郷を語るもよしです。「只の「敬老会」にならぬよう、若い世代の参加を促し、百名出席が目標」とは事務局長の弁です。◆管をから覗くと狭い範囲しか見えない事から少ない知識、狭い見識というのが管見の意ですが、実際は謙称ですから、謙遜どころかいついばいついばの私には管見に拙まで付いたこの標題はキツイ。

礼賛—十九期生

立花善裕（19期）

少々減少傾向にあつた総会出席者を増やす手はないものかと、役員会で相談し、人生の一つの区切りであろう還暦を迎えた人達に毎年順繰りに呼び掛けてみようという事になって、今年が二年目になります。昨年は初回にしてはそれなりの成果があつたと思ひます。さて今年の対象者は、とうとうと、昭和二十三年四月二日から二十四年四月二日生まれの十九期生、二十三年五月創立の大湊高校そのものと同級生であります。

実は筆者もその内の一人なのですが、同級生である大湊高校には我々の時代に始まつて今でも統一

ているものが、いくつかあります。まつポर्ट部ですが、我々が三年生の時、高体連が青森県で開催されることになり、ポर्ट競技の会場が若崎湾に決定、それに呼応してポर्ट部が創部されました。ポर्ट部は全国でも数が少なく、出さずすればは確実に入賞できたようです。

次に柔道部ですが、部は以前からあつたのですが、前号で「恩師健在」に登場した八戸先生に加え伊藤公正先生が顧問に加つて指導者が増強され、全国大会初出場を果たしたのもこの年でした。この件は「我々の時代に始まつて今でも統一しているもの」には該当しませんが、輝かしい過去の

ひとごととして。

東京同窓会の会員諸氏はいや、総会出席者の大半は、十九期生より長く生きている人達ですから、当然未経験でしょうが、今や伝統行事（四十年以上も統一しているのだから、敢えて伝統と言わせてもらおう）となつた「耐久遠足」と「文化祭の俊武多」もこの年に始まつております。只、前者に関しては筆者自身ほとんど記憶がなく、もしかしたら「全校マラソン」がそのトライアルで、これを引き

継いで「耐久遠足」として体裁を整えたのは翌年だったかもしれせん。いづれにしろ、奈良岡良二校長が始めた事には違ひありません。

「文化祭の俊武多」については、これは自分が言い出しついでもあり、間違ひなく十九期生が始めたものです。前夜祭ですし俊武多ですから、暗黙の了解で、当然の如く夜に運行されました。（25号参照）

因みに、高校の俊武多運行は昭和二十八年に始まつた弘前高校に次いで大高は二番目に古く、今でも統一しているのは多分二校だけだと思ひます。

最後に、なぜなのかは答え様がないのですが、残念ながら大湊高校の卒業生であることに〇〇%誇りを持っていません。ですが、十九期生であることは充分誇れます。掛け替えのない友、仲間です。素晴らしきかな十九期生。

グラウンドを二周して漸く体育の単位を取った人もいたようであるが（こういういい時代でした）N君許されよ、四十二年三月無事卒業し、進学、就職、はまたまた浪

太平洋航路 ホノルルへ (一九六五年九月)

畑中皓二(5期)



〔前号から続く〕
日付変更線を越えると後二日
でいよいよホノルル。今日も海は穏
やかで波長の長いうねりが快くロ
ーリングする。

横浜からホノルルまで七日間。
ホノルルからサンフランシスコまで
六日間。アメリカ・プレジデントラ
イン・ウィルソン号は順調に航行す
る。ようやく仲良しになった、同
室のおじさんやほかの日系二世の
人達が下船の支度を始める。その
日は人種入り乱れてのお別
れパーティー、バーのあるホールでは
船員バンドの演奏でダンスや歌を
深夜早朝まで。

がだんだん近づくと、パールハーバーの
港口を越えてホノルル港に近づくと
アロハタワーが見えて来て、ゆつ
くりと波止場に接岸した。

眠りに落ちかかったその時、ポ
ーイさんが触れ歩くベルの合図、
朝食の時間でした。今日はホノル
ル上陸の日だ、早めに朝食を終え
て、デッキに出てみる、ハワイの鳥影

同行したJ君がサーフィンボー
ドを借りてきたので、代わる代わ
るトライするが、にわかサーファー
は誰一人ボードに立つ事も出来な
かった。

ここで解散自由行動、夕方五時まで
の帰船なので、若い衆五人でワイ
キキ、タクシーはキャデラック。ワ
イキキ海岸について、共同更衣施
設に到着している物を放り込む、白い
砂浜を駆け込んで白い波の中に
飛び込む。

第八回あしき会海外旅行

今回はフランス縦断の旅で、一〇
八年四月十八日から十日間、成
田から総勢二十三名でロンドン経
由南仏ニースへ、モナコ・マルセイユ
・アルル・アビニオン・リヨン・ロワール
・モンサンミッシェル・オンフルール
・ルーアンそしてパリと観光し、パリ
では、フランス合気道(フランスでは
気道の創始者である大中同級
生の野呂昌道君と何年ぶりかで
再会、客室で柳谷二雄君(5期)持
参のお菓子とお茶で俄かクラス会、
野呂君は単身渡仏して四十数年
とか、話の中心は六十年前まで遡
り懐かしくそして貴重な再会で
した。

更衣施設で身支度を整えタク
シーで帰船する。船は時間通りに
出港だ、ハワイ下船の連中が十五
六人見送りに来ていた、やはり船
の分かれは苦手だ。
船はサンフランシスコに向け出帆。
(次号へ)

【集い】短信



東京同窓会春の恒例行事「第 二回花見の会」は、平成二十年三 月三十日「川越・喜多院」で開催。 参加者四十名。

心配した天気もなんとか持ち、
満開の桜のもと、花冷えの言葉ど
おり、やや冷気ありしも、現地カ
イドの案内で喜多院、五百羅漢、
時の鐘、蔵造り商店街と、川越
市内の名所旧跡を巡り出来た。
また、有名料亭「いも膳」での昼
食会も、川越名物芋料理で美味
珍味を堪能、「いも膳カクテル」や
生ジヨキが威勢よく干された。
当日所用のため、「いも膳」から

の参加となった川越在住の福井 勉さん(8期)を含め四十名とい う大人数ゆえ、さすがの大広間 も手狭な感あり。

これら企画段階からの資料収
集や、事前の下見などに献身され
た走上諦子さん(5期)旧姓・工
藤、宮寺禪子さん(13期)ご姉妹

の協力のお蔭と感謝の意を表 したい。

【追記】今後の計画
八月三十一日(日)午後7時
『東京湾納涼船遊覧』
(浜松町・竹芝橋発着)
会費2500円程度

東京同窓会この一年

TEL 03-3406-1137 畑中まほ



- 東京同窓会この一年
- 19年6月30日 理事会
- 19年度総会総括
- 19年8月26日
- 夏の懇親会・東京湾納涼船
- 19年12月15・16日
- 夏の懇親会・東京湾納涼船
- 19年1月18日
- 役員懇親・忘年会(箱根・泊)
- 20年1月18日
- 役員新年会
- 20年3月30日
- 第2回花見の会
- 川越・喜多院(記事参照)
- 20年4月12日 理事会
- 20年度活動計画
- 会則改正・総会開催準備等
- 20年5月10日 理事会
- 総会案内発送
- 20年6月14日 理事会
- 総会直前最終確認
- 20年6月21日
- 20年度総会
- 懇親会・新卒者激励会
- 今後の予定
- 20年7月12日 理事会
- 20年度総会総括
- 20年7月16日
- 青森ライフPRイベント
- (八重洲口・青森キャリアアセン

タシ無料・先着50名
20年7月27日
高総連第9回ボウリング大
会(東急ミラノポウル・歌舞
伎町)
20年8月15日
本部新卒者激励会むつ市内
ホテル)
20年8月31日
第三回東京湾納
涼船遊覧(竹芝橋発着)

【東京で体験できる「ねぶた」
デエダラ祭り
開催地 武蔵村山市・プリンスの
丘公園他
開催日 十月二十五・二十六日
今年で三回目のデエダラ伝説に因
んだ新しいまつり。初回からむつ
市城ガ沢俊武多実行委員会が協
力、製作指導も行なっている。昨年
は「大多羅法師」のほか城ガ沢で
製作した「武士団・村山党」も登
場この二台は今年も運行される。
大湊以外で大湊のねぶたが見れ
る貴重な機会。



第一回デエダラまつりに登場した
城が沢の「大多羅法師」
平成18年

【羽衣ねぶた祭り
開催地 立川市羽衣町 南武線
西国大駅徒歩五分
開催日 八月十五・十七日
今年十周年、黒石の扇・人形ねぶ
た総数十数台が運行される。
青森県物産販売所も設けられる。
大湊のねぶたより賑やか。
【世田谷・桜新町ねぶた祭り
開催地 サザエさん通り
開催日 九月初旬の土曜日
人形ねぶたが三四台出る。

「東京生活」アンケート No.23

今年三月、われらが母校青森県立大湊高等学校を卒業し、進学・就職のため上京した同窓会新会員第60期生の皆さんに、初めての東京生活についてのあれこれ尋ねてみました。

(返信到着順)

質問事項

- ①東京(首都圏)で生活してみて番ビックリしたことは何ですか? ②言葉の問題で悩むことはありましたか? ③上京後、クラスメートに何回会いましたか? ④毎日の仕事(又は学校)は、きついですか? ⑤今の仕事(又は学校)をかわりたいと思ったことがありますか? ⑥田舎に帰りたいと思ったことがありますか? ⑦大湊高校時代で一番印象に残っていることは何ですか? ⑧母校の後輩に言いたいことは? ⑨いま一番会いたい人は? ⑩その他、どんなことでも...

戸草かおり(東京都立川市)

①電車が10分おきくらいに来ること。人が多かった。②特にない。③0回。④大変だけど、きつくない。⑤ない。⑥最近なつかしいと思った。⑦部活動の練習と試合と先生。⑧度は青森から都会に出て社会全体を見た方がよい。⑨部活でお世話になった先生と担任の先生。⑩特になし。

蛸島季恵(千葉県柏市)

「国際理容美容専門学校」

①移動が大変なこと。もやしや28円もすること。カラスがかしこいこと。意外と寒いこと...いっぱいありますね。②あまりなかったです。③中学の友達とは何度か。大高の友達にはまだ会えてないです。④会いたいんです。⑤学校と二人暮らしの両立は本当にきついです。自分の時間というものがつくれません。⑥国際は厳しい学校なのですが、最初の頃は違う専門に行けばよかったーと思う日もありました。だけど将来のことを考えるとこの学校でよかったなと思います。⑦あります。まだ、過去の生活に未練があります。これを書いている今も帰りたいです。⑧スカートの長さや携帯使用時間が厳しくなりました!あの時は、なんでいきなり厳しくなるのかと思つてたけど、今考えると、すごく役に立っています。先生が言っていたことがすごくわかるようになりました!⑧進学、就職のためだけじゃなく、自分のために検定を。⑨高校生活、後悔しないように楽しんでください!

⑨それは...ベベっていううちの愛犬に会いたい♡いやされた♡⑩...大高でバドやっていた。以上です。こんな話ですがみなさんの役に立てばなあと嬉しいです。ありがとうございます。

秋元卓哉(神奈川県平塚市)

①美容室のカットの料金が、むつ市の3倍だったこと。②標準語を話す努力をしています。③2回再会しました。④英語の授業はとても楽しいです。面倒な講

義もあります。⑤まだありません。⑥もちろんです。⑦野球とクラスと卒業式です。⑧私も井戸端先輩もいるので、どうぞ東海大学へ。⑨野球部のみんな。⑩石田でカレーを食べたい。

伊勢田彩佳(東京都大田区)

「東京誠心調理師専門学校」

①人が多すぎです。朝の電車改札は本当にヤバイです。あと、便利なようで意外と不便。②特にないです。意識して標準語で話しているつもりでも、関東の人には「訛ってる」と言われます。でも「方言教えて!」って言われたり、会話の幅が広がりましたね。③0です。④きついです。調理師専門学校と言つても毎日調理実習しているわけじゃなくて、むしろ座学がほとんどです。実習中は4時間立ちっぱなしなので、筋肉痛は予想以上のレベルです。⑤ないです!⑥東京に来たばかりの頃は、ホームシックになつてしまつて毎日「帰りたい」と思つてました。今はホームシックは治つたし、毎日楽しんでるけど、やっぱり田舎が一番なんですね。帰りたいです。⑦何が一番か決められないくらい、大高での生活は毎日すごく楽しかったです。行事で良い結果を残せたのも良かったけど、それ以前に「4組の1員で良かった」というのが、卒業して強く感じました。⑧高校生活、思いっきり楽しんで下さい!⑨家族・友達・部活メンバー、自分にとって大切な人たちに会いたいです。⑩1年制の専門学校は、4月下旬から就職ガイダンスがあるので、専門学校希望している人は、入学前に就職のこ

と細かく決めておいた方がいいです。

佐藤真(神奈川県横須賀市)

「横須賀教育隊」

①温度差が激しい。②なし。③2、3回。④きつい。⑤なし。⑥ある。⑦修学旅行・球技大会・体育祭・部活。⑧最後まで諦めずに頑張つて下さい。⑨家族・友達。

加藤雄大(茨城県龍ケ崎市)

「流通経済大学」

①人が多い。②伝わらない言葉があった。でも、むつより茨城の方がなまってるかも...。③0回。④楽ではない。⑤ない。⑥うちに来たばかりの時や、毎日誰もないアパートに帰ってきたとき。⑦やっぱり部活、あと、3年の時の各行事。⑧高校は最高に楽しいぞ。⑨元31日Rのメンバー、野球部の仲間・関係者の方。⑩流経に入ろうと思つてる人、知りた人は教えるんで参考にしてください。

石田皓(東京都豊島区)

「東京理科大学」

①人の多さ。②なまりがぬげなくてけつこうからかわれます。③会っていません。④きついです。⑤あります。⑥いつも思つていますが、少し強はつらい。⑦部活。⑧勉強はつらい。⑨友だち。

お忙しい中、アンケートの回答を寄せてくれた新卒者の皆さんありがとうございます。ありがとうございました。



正門を入り、右にカーブした坂を下ると正面玄関です。生徒用の玄関は校舎の両側にありました。

編集後記

現在の総監部庁舎の所にあつた大湊高校旧校舎の写真をちらばしてみました。同窓生の出版情報です。柘川清人(16期)「柘川の苗字について」自費出版、竹浪和夫(17期)「俳人 畑中秋穂伝」下北文化社。共に、むつ市立図書館蔵。初めて作った「なかも」。初めてのカラー版。原稿の手配ミスで「同期会だより」「集い」が1だけ。反省。

大高年入学早々いきなり新聞委員長、学校新聞を作りました。それ以来の新聞編集。何も覚えていなくて、ゼロからの出発でした。ご批判、感想、激励、企画、原稿、広告、何でも事務局までお寄せください。

発行 青森県立大湊高等学校 東京同窓会 編集 立花 善裕(19期) 題字デザイン 畑中 皓二(5期) 事務局 〒三三三-0033 埼玉県越谷市大里 四〇一-144 富澤 千里(16期) ☎〇四八-九七六五九二 印 刷 エスデジタルファクトリー

東京へ下北を贈ろう! なまこ・ほたて・菜の花商品・海産物全般 有限会社 すぎやま 青森・下北ふるさとの会 青森県上北郡横浜町字大豆田127 TEL0175-78-2080 FAX0175-78-6051 URL:http://www.rakuten.co.jp/aotoku/ E-mail:sugi@omon.ne.jp MyE-mail:toru0629jp@yahoo.co.jp 代表 杉山 徹 第22期生

むつの便りは「やなぎや」のお菓子で... YANAGIYA ●田名部ばやし ●おのみなと ●フライボール ●寒込馬サブレ ●他 銘菓各種 代表 柳谷 一雄 第5期生 緑町本店 むつ市緑町17-58 T.0175-28-2880 金谷店 むつ市金谷2-7-11 T.0175-23-6720 URL:http://0-yanagiya.jp